



<成果>

生活科では、諸感覚(目、手、鼻など)を働かせて、自然を感じ取った観察カードを書き続けてきた。「水遊び」「どんぐりひろい」「あさがおの成長記録」などの活動から、ESD子供報告会で発表したいことを一つ決め、楽しかったこと、気が付いたことを文章にまとめ、その文章の一つ一つの文をメモ(付箋)にした。同じ活動を選んだ友達と、話し合いを通して諸感覚を使ったメモの分類に挑戦した。同じ体験をしているのに異なる感覚を使って楽しさを感じ取っていることが、友達のメモを見合うことで分かり、活発に意見を出し合った活動になった。

友達のメモを読み合って、分類するための話し合いをした。

<本時の様子>

- ・前時で作ったメモ(付箋)の内容から二つの部屋に分け、分けた部屋でもさらに、内容にそった整理をした。
- ・メモを分類するために、友達の意見を取り入れた話し合いをした。話し合いを通して、台本づくりに活かしたい内容のメモを選ぶことができた。

これまでの学習で、体のあらゆる感覚(諸感覚)を使って、感じたことや気づいたことを言葉で表現してきた。



諸感覚のシールをメモに貼って仲間分けをした。



<課題>

◆メモの分類

緒感覚からの気付きのメモは、文を構成する要素として役立つ一方で、分類となると、新たなカテゴリーが生まれ、心で思うハートの位置づけをどうするかなど、明確な方向性に欠けていた。

◆話し合いについて

・同じ緒感覚で感じていることの相違点について感想(共通感覚の喜びや違い)を引き出すことができれば、台本作りのメモ選びがより効果的だった。

